

# 計画規模降雨

(概ね100年に1回程度起こると予想される降雨規模)

- 琵琶湖 琵琶湖高水位 B.S.L.※+1.4m
- 野洲川(下流) 野洲川流域の1日間総雨量350mm
- 草津川 草津川流域の12時間369mm
- 地先の安全度マップ 1時間最大109mm、24時間529mm

※琵琶湖の高水位となる水位 (B.S.L.±0.0) は、東京湾平均中等潮位 (T.P.±0.0) から+84.371mの高さです。

# 洪水内水ハザードマップ

草津市(矢倉学区)

保存版

## 洪水・内水ハザードマップについて

このハザードマップは、国や県が新しく公表した洪水浸水想定区域図(計画規模降雨)と地先の安全度マップを基に作成しています。表示している洪水浸水想定は、右記の4種類のシミュレーション結果を重ね合わせ、最大となる浸水域、最大となる浸水深を示したものです。

雨の降り方や土地利用状況の変化等により、浸水想定の色がない場所でも浸水が発生する可能性があります。浸水深も深くなる場合がありますので注意してください。

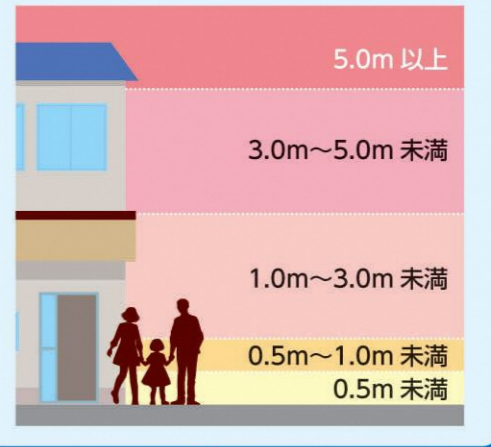
- 琵琶湖洪水浸水想定区域図(H31.3.19公表)
- 草津川洪水浸水想定区域図(R1.10.1公表)
- 野洲川(下流)洪水浸水想定区域図(H28.6.14公表)
- 地先の安全度マップ(R2.3.31公表)

マップに関するお問い合わせ先

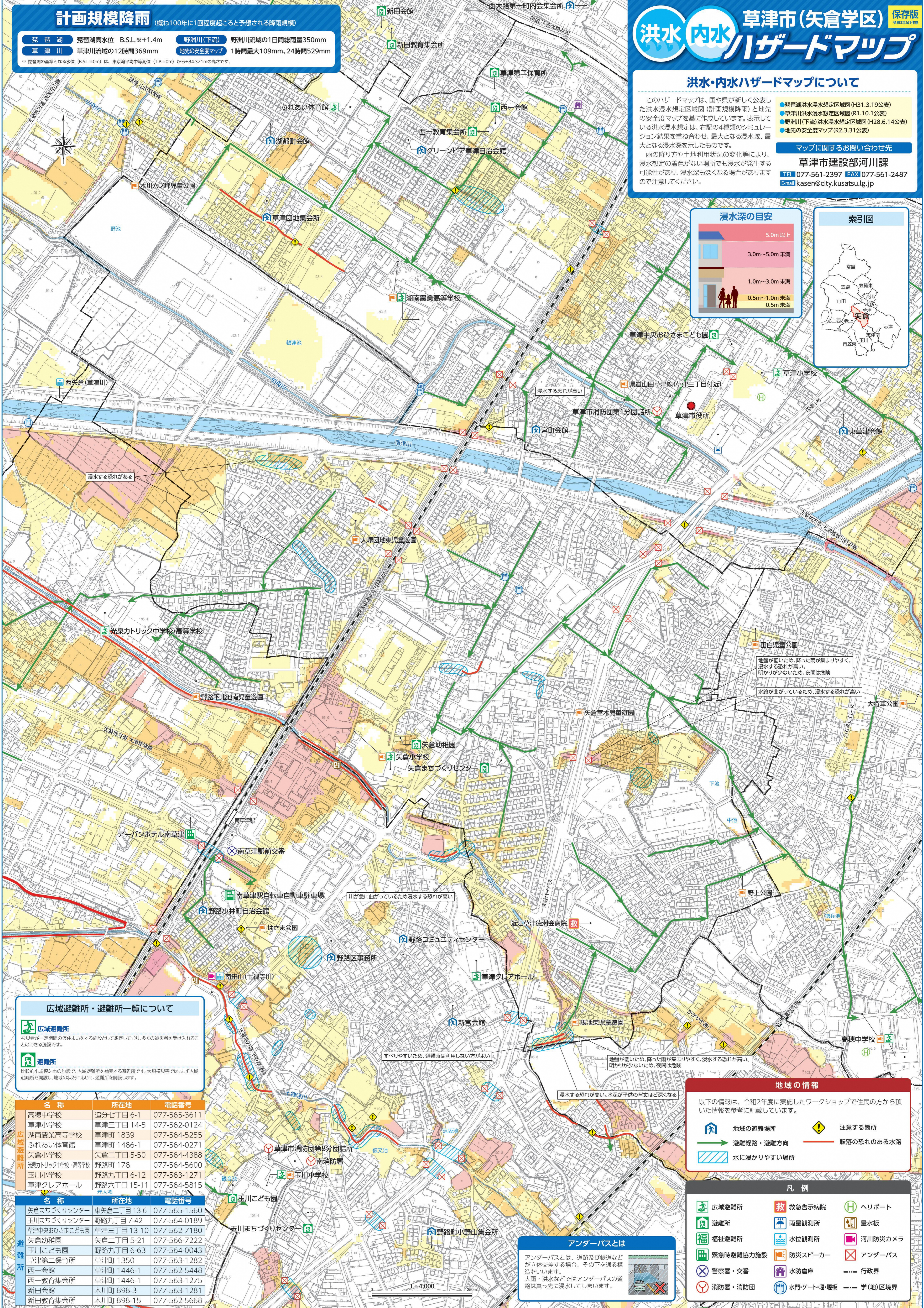
草津市建設部河川課

TEL 077-561-2397 FAX 077-561-2487  
E-mail kasen@city.kusatsu.lg.jp

## 浸水深の目安



## 索引図



浸水する恐れがある

浸水する恐れが高い

地盤が低いため、降った雨が集まりやすく、浸水する恐れが高い。明かりが少ないため、夜間は危険

水路が曲がっているため、浸水する恐れが高い

川が急に曲がっているため浸水する恐れが高い

すべりやすいため、避難時は利用しない方がよい

浸水する恐れが高い。水深が子供の背丈ほど深くなる

## 広域避難所・避難所一覧について

**広域避難所**  
被災者が一定期間の仮住まいをする施設として想定しており、多くの被災者を受け入れることのできる施設です。

**避難所**  
比較的小規模な市の施設で、広域避難所を補充する避難所です。大規模災害では、まず広域避難所を開設し、地域の状況に応じて、避難所を開設します。

名称	所在地	電話番号
高穂中学校	追分七丁目 6-1	077-565-3611
草津小学校	草津三丁目 14-5	077-562-0124
湖南農業高等学校	草津町 1839	077-564-5255
ふれあい体育館	草津町 1486-1	077-564-0271
矢倉小学校	矢倉二丁目 5-50	077-564-4388
光泉カトリック中学校・高等学校	野路町 178	077-564-5600
玉川小学校	野路九丁目 6-12	077-563-1271
草津クリアホール	野路六丁目 15-11	077-564-5815
矢倉まちづくりセンター	東矢倉二丁目 13-6	077-565-1560
玉川まちづくりセンター	野路九丁目 7-42	077-564-0189
草津中央おひさまこども園	草津三丁目 13-10	077-562-7180
矢倉幼稚園	矢倉二丁目 5-21	077-566-7222
玉川こども園	野路九丁目 6-63	077-564-0043
草津第二保育所	草津町 1350	077-563-1282
西一会館	草津町 1446-1	077-562-5448
西一教育集会所	草津町 1446-1	077-563-1275
新田会館	木川町 898-3	077-563-1281
新田教育集会所	木川町 898-15	077-562-5668

## 地域の情報

以下の情報は、令和2年度に実施したワークショップで住民の方から頂いた情報を参考に記載しています。

- 地域の避難場所
- 避難経路・避難方向
- 水に浸かりやすい場所
- 注意する箇所
- 転落の恐れのある水路

## 凡例

- 広域避難所
- 避難所
- 福祉避難所
- 緊急時避難協力施設
- 警察署・交番
- 消防署・消防団
- 救急告示病院
- 雨量観測所
- 水位観測所
- 防災スピーカー
- 水防倉庫
- 水門・ゲート・堰・堰板
- ヘリポート
- 量水板
- 河川防災カメラ
- アンダーパス
- 行政界
- 学(地)区境界

## アンダーパスとは

アンダーパスとは、道路及び鉄道などが立体交差する場合、その下を通る構造をいいます。大雨・洪水などではアンダーパスの道路は真っ先に浸水してしまいます。